

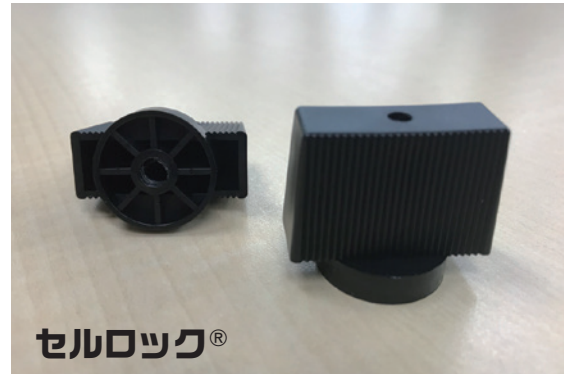
# セルロック®

接続強度  
向上

テラセル® グランドセル® 工法用 接続部材

特許取得済み

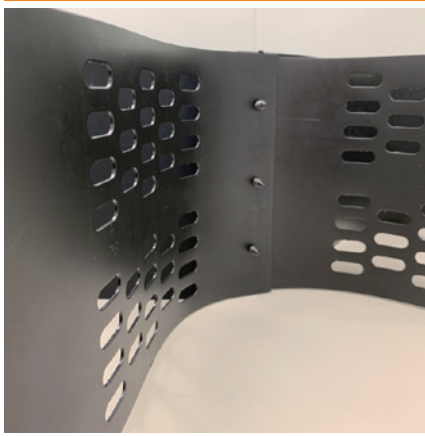
擁壁・基礎・のり面・路盤分野で多くの採用を頂いているテラセル・グランドセル工法の安全性、信頼性を更に追及するため、製品同士の接続部に対して、セルロックを併用し接続強度を向上することに成功しました。製品同士の溶着強度と同等以上の強度を接続部に付与させました。特に擁壁分野では、のり面が常に露出した状況下で、製品の耐候性はもちろん各接続部、溶着部のすべてが、同等の強度を保持した擁壁のり面を構築することができます。これにより、擁壁の安定性、信頼性を向上させることができます。



## テラセル擁壁 前面シート

3箇所取付

接続ビス取付 (3箇所)



## テラセル擁壁 背面シート

2箇所取付

接続ビス取付 (2箇所)



## セルロック取付 現場状況



セルロック取付 (3箇所)



セルロック取付 (2箇所)



TOKYO ink

# セルロック®

## ■ 強度試験結果

【試料】 テラセル前面シート+セルロック3箇所  
 【試験方法】 JIS L 1908 準拠

材料No.	試験結果
	最大引張強さ N/15cm
1	3320
2	3450
3	3470
4	3320
5	3480
平均	3410

【試料】 テラセル背面シート+セルロック2箇所  
 【試験方法】 JIS L 1908 準拠

材料No.	試験結果
	最大引張強さ N/15cm
1	2390
2	2440
3	2370
4	2380
5	2200
平均	2360

\*試験機関：一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター 東部事業所

## 【セルロック取付箇所数の違いについて】

テラセル擁壁工法に使用しているTW-150Mの製品溶着強度は、2,130N/15cm以上が規定値です。今回、テラセル前面シートにセルロックを3箇所取付、背面シートにセルロックを2箇所取付となっています。前面シートは、常時暴露状態であり、雨風雪などを含め外的要因による外力が作用することを考えているため、より安全面を追求し製品溶着強度の1.5倍程度の強度を保持しています。試験結果は上記の通り、前面シートは平均強度3,410N/15cm、背面シートは平均強度2,360N/15cmとなっています。

## セルロック荷姿

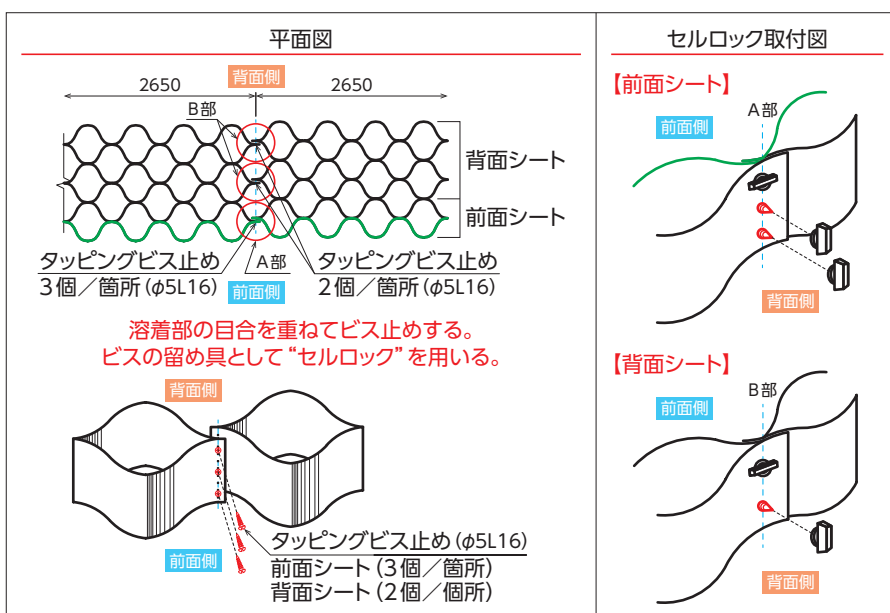


梱包単位

100個入り/1ケース

## セルロック接合部詳細

■ 前面シート (1セル目)=3個 ■ 背面シート (2セル目以降)=2個



東京インキ株式会社  
 TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

<https://www.tokyoink.co.jp>

本社 / 〒114-0002 東京都北区王子1-12-4 TEL.03-5902-7627  
 札幌営業所 / 〒065-0020 札幌市東区北二十条東18-2-1 TEL.011-784-7772  
 仙台営業所 / 〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-1-18 TEL.022-274-3531  
 新潟営業所 / 〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-25 TEL.025-245-3141  
 名古屋支店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 TEL.052-331-1515  
 大阪支店 / 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町1-28 TEL.06-6761-0077  
 広島営業所 / 〒732-0827 広島市南区稻荷町5-18 TEL.082-568-4400  
 福岡支店 / 〒816-0912 福岡県大野城市御笠川3-13-5 TEL.092-503-8979